

# “日清食品カップ” 第35回全国小学生陸上競技交流大会

## 監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもとに進行する。
2. 監督会議は8月9日（金）15時20分より、日産スタジアム301会議室にて行う。監督を含む2名までの出席とする。
3. 開会式は8月10日（土）8時20分から行う。選手団は8時00分までに指定された場所（マラソングート）に集合し、整列する。
4. 表彰について
  - ① 表彰については全種目8位までを行い、賞状授与はB・C決勝入賞者、コンバインドは24位まで行う。
    - 1) 男女100m A決勝・男女混合4×100m リレーA決勝の入賞者には賞状と副賞、B・C決勝の入賞者には賞状、その他の出場者（友好レース100mを含む）には記録証を授与する。  
なお、A・B・C決勝の入賞外（DNS/DNF/失格）の選手・チームについては予選時の記録証を授与する。
    - 2) 男女コンバインドA・Bの8位までの入賞者には賞状と副賞、9位から24位までの入賞者には賞状、その他の出場者には記録証を授与する。
  - ② 8位までの入賞者は競技終了後、大会関係者により入賞者待機場所へ誘導する。
  - ③ 表彰式終了後は、大会関係者が競技者を招集所まで誘導し、そこで解散とする。
  - ④ 9位以下（B・C決勝、およびコンバインド24位まで）の賞状は、2階正面玄関エントランスにてプレゼンターが渡す。8位までの表彰式終了後、入賞者が各自受け取りに来ることとする。
5. ナンバーカードについて
  - ① ナンバーカードの表記は、都道府県番号とする。
  - ② ナンバーカードは支給されたままの大きさとユニフォームの胸と背につける。（全種目とも、胸・背の両方につける。）
  - ③ 友好レースに出場する競技者のナンバーカードは、男子「都道府県番号ー5」、女子「都道府県番号ー6」とする。
6. 男女混合4×100mリレーのオーダー用紙提出について
  - ① オーダー及び友好レースについては、出場競技者名を所定の用紙に記入し、日産スタジアムの選手団受付時に提出する。
  - ② 事故などにより、やむを得ず提出したメンバーの変更が生じた場合は医師の診断を受け、大会本部が認めた場合のみ友好レース出場者から男女混合リレーに出場する競技者を変更できる。  
※但し、走順の変更はできない。（変更者の入れ替えのみ可）  
※監督会議時に提出したオーダーに変更が出た場合、予選は大会当日の予選1組目の招集完了時刻の60分前までに、決勝はC決勝の招集完了時刻の60分前までに、所定の用紙にて招集所の競技者係に提出する。
7. 競技者の招集について
  - ① 招集所は100mスタート側のマラソングート（2階周回路 ※柱番号273～275付近）に設置する。
  - ② 招集は競技日程に記載の招集開始時刻～招集完了時刻の間に確実に完了する。  
※招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意する。
  - ③ 招集所には、競技に出られる服装（ナンバーカードを付けた状態）で集合する。
  - ④ リレー出場の競技者は走順に「都道府県番号ー1～4」の追番のついたナンバーカードを付けて集合する。

- ⑤ トラック競技は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰のやや後方に付ける。(※リレーはアンカーのみ。)
- ⑥ コンバインド競技（混成競技）の2種目目についても同様に招集を行う。招集時間は競技日程に記載の通りとする。

※男子コンバインドAにおいては、第1種目終了後、解散し、第2種目目の招集時間に再度集合する。

男子コンバインドB、女子コンバインドA・Bにおいては、第1種目終了後、招集所エリアにて待機し、第2種目目の招集を行う。コンバインド種目に限り指導者はコンバインドコーチングエリアにて、招集完了時間まで、競技者への指示、指導を行うことができる。(コンバインドコーチングエリアに入れるのは監督・コーチ、支援コーチとする。ID規制があるためID持参の事。)

- ⑦ コンバインド競技に出場する競技者は、混成競技系の指示に従う。
- ⑧ 招集所への競技者以外のは入場は禁止する。

## 8. トラック競技

- ① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目9mmを超えないものとする。)
- ② レーン順はプログラムに記載のとおりとする。
- ③ 100m(5年・6年)、男女混合4×100mリレーでは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの競技者・チーム、B決勝を予選9番～16番までの競技者・チーム、C決勝を予選17番～24番までの競技者・チームとする。決勝ボーダーライン上で1000分の1まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。
- ④ スタートはクラウチングスタートを原則とする。(スターティングブロックは使用しなくても良い。)
- ⑤ スターティングブロックは競技場に備え付けのものを使用する。
- ⑥ スタートの合図はイングリッシュコールで行う。
- ⑦ 同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。
- ⑧ 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。
- ⑨ 80mハードルは、男女ともにハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- ⑩ リレー競技(男女混合4×100mリレー)は男女各2名から編成され、走順は自由とする。(補欠についても男女各1名ずつとする。)
- ⑪ リレー競技のバトンは競技場に備え付けのもの、マーカーは主催者で用意したものを、出発係から受け取り使用する。
- ⑫ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mとする。  
テイク・オーバー・ゾーンの中からスタートする。※ゾーン外から走り出してはならない。
- ⑬ リレー競技に出場する競技者のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑭ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース(男女別・100m)に出場できる。その際のナンバーカードについては上記「5. ナンバーカード ③」の通りとする。
- ⑮ リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。

## 9. フィールド競技

- ① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。(スパイクのピンは全種目9mmを超えないものとする。)
- ② 試技順はプログラムに記載のとおりとする。

③ 走高跳

- 1) 1・2組に分かれ、第1曲走路側に並んで設けられたA(1組)・B(2組)ピットの2カ所で行う。
- 2) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- 3) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。  
パスを行なうことができる。
- 4) 最初の試技の高さ、およびパスは、ピット内にて練習時に競技役員に申告する。
- 5) バーの上げ方は次のとおりとする。

男子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cmずつ
女子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降3cmずつ	

④ 走幅跳

- 1) 1・2組に分かれ、A(1組)・B(2組)ピットで行う。(Aピットトラック側・Bピットスタンド側)
- 2) 全員2回の試技とする。

⑤ ジャベリックボール投

- 1) 第2曲走路側を競技場所とする。助走距離は15m以内とする。
- 2) ジャベリックボールは競技場に準備されたものを使用する。
- 3) 競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端につけて(落下地点に痕跡を残すため)、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。\*羽だけを持って投げることは禁止する。
- 4) 全員2回の試技とする。

10. コンバインド競技

- ① 本大会におけるコンバインド競技は次の順で行う。  
コンバインド A: 80mハードル、走高跳  
コンバインド B: 走幅跳、ジャベリックボール投
- ② 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表(2019)』による。得点は男女共通とする。  
※『JAAF 小学生混成競技得点表(2019)』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開。
- ③ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④ 100点以下の記録は、すべて100点とする。
- ⑤ スタートまたは試技を行ない、参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)、記録無し(DNF/NM)、失格の場合は、50点(参加点)とする。
- ⑥ スタートまたは試技を行なわない場合は、欠場とし、0点とする。
- ⑦ 最初の種目で欠場した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑧ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

11. 記録・番組編成結果の発表

- ① 大型映像および掲示版に掲載する。
- ② 掲示盤は【西ゲート4階コンコースW14】、【マラソングート招集所入り口】、【補助競技場入り口】の各付近に設置する。

12. トラック競技参加者の荷物の運搬について

① 個人種目

- 1) 100m 予選・友好レース・80mハードル(コンバインドA)は、荷物の運搬はしない。大会関係者が競技者を招集所まで誘導し荷物を持って退場する。
- 2) 100m A決勝は、補助員が入賞者待機場所に運搬する。
- 3) 100m B・C決勝は荷物の運搬はしない。大会関係者が競技者を招集所まで誘導し荷物を持って退場する。

② リレー種目

- 1) 予選は、荷物の運搬はしない。走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。
- 2) A決勝は補助員が入賞者待機場所に運搬する。
- 3) B・C決勝は荷物の運搬はしない。各チーム共に、走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。

13. 入賞者（8位まで）の誘導について

- ① 友好レースを除く各種目8位までの入賞者は、表彰のためインタビュー室を經由して大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。
- ② コンバインド（A・B）は2種目目終了後、第1ゲートコンバインド待機エリアで待機し、8位までの入賞者確定後、8位までの入賞者は大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。それ以外の競技者は大会関係者が招集所まで誘導してそこで解散とする。
- ③ 表彰式終了後に大会関係者が競技者を招集所まで誘導し、そこで解散とする。

14. 抗議について

招集所横に「抗議受付」を設置する。受付後は競技役員の指示に従い、「抗議者控え室（219室）」にて待機する。抗議は、予選では結果の正式発表後15分以内、その他は結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。

15. 事故防止と競技場の使用について

- ① 練習は指定された場所・時間で競技役員の指示に従って行き、「事故防止」に万全を期す。

《8月9日（金）大会前日の練習について》

練習時間 11:30～17:30

- 1) 主競技場 100m ホームストレート側  
80mH バックストレート側  
走高跳 フィールド内  
走幅跳 走幅跳ピット
- 2) 補助競技場 4×100mリレー（トラック）
- 3) 投てき場 ジャベリックボール投

※8月9日（金）のみ、第2曲走路側スタンド下エリアを、「競技者休憩所」として開放する。

ただし、練習、場所取りは不可。選手、監督・コーチ、支援コーチのID着用者のみが入場可。

8月10日（土）は使用できない。

《8月10日（土）大会当日の練習について》※主競技場での練習は行えない。

練習時間 ①補助競技場 7:30～16:00

- 1) 体操等のウォーミングアップはバックストレート側のトラック外側部分で行う。  
フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止する。
  - 2) 競走路の使用は次の通りとし、逆走は禁止する。
    - ・1～2レーン：ジョギングで使用。
    - ・3～5レーン：リレーで使用。
    - ・6～8レーン：（ホームストレート側）100m種目で使用。
    - ・7～8レーン：（バックストレート側）80mハードル種目で使用。
  - 3) 走高跳、走幅跳のピットは使用可能。
- ②投てき場 男子 7:30～9:10  
女子 9:15～10:55

- ② 招集所待機中の練習等は禁止とする。
- ③ 練習場にハードル等の持ち込みはできない。※ハードルは主催者側で準備した物を使用すること。
- ④ 大会当日の練習は補助競技場と投てき練習場（ジャベリックボール投）で係員の指示に従って行う。
- ⑤ スタンド裏コンコースでの練習は禁止とする。
- ⑥ 練習場に立ち入りのできる監督・コーチ、支援コーチは各都道府県で最大7名までとする。  
※配布されたIDを必ず着用のこと。  
※曲走路、ピット内の立入は競技者のみ、監督・コーチ、支援コーチは立入禁止。
- ⑦ 練習場の使用時間、使用方法は監督・競技者注意事項に従うこと。
- ⑧ 更衣については、招集所横の競技場内に更衣室を準備する。貴重品、荷物については各自で管理すること。

#### 16. ケガ等への対応

- ① 救護については競技場内の医務室を使用する。応急処置は大会本部で行うが、以後、保険適応外の責任は負わない。
- ② 監督・コーチ（支援コーチは除く）、競技者は国内旅行傷害保険に加入する。

#### 17. 競技場内での写真・ビデオ等の撮影について

- ① 盗撮防止措置として、本大会主催者より各選手団に40本のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後方からも確認できる位置（左肩）につけること。
- ② リボンが確認できない場合、警備員もしくは大会関係者によりお声掛けする場合がある。

#### 18. その他

- ① 開会式に参加した競技者及び監督・コーチは、途中退出はできない。
- ② フレンドシップパーティー（閉会式）は全競技者参加とする。（指導者の参加も可）
- ③ 横断幕は1階スタンドの各都道府県に割り当てられた席の前で、指定された柵のみに掲出を認める。
- ④ スタンド裏コンコースには、テント等の障害物となるものの設置や、展示物のある壁面・柱への掲出物は、いかなる用途・サイズであっても設置を不可とする。
- ⑤ 記録証・リザルトについては大会終了後に各都道府県選手団監督へ郵送する。ただし、大会終了後に宿泊をする都道府県については、翌日の朝食の際に各選手団のテーブルに配布する。
- ⑥ 競技場（主競技場、補助競技場、投てき練習場）のトラックおよびフィールドには水以外の飲食物の持ち込みは禁止する。
- ⑦ ゴミは各自持ち帰りを原則とする。